

インターネットの正しい使い方、危険性を理解していますか？

近年の携帯電話やインターネットの普及によって、私たちの生活は便利になった反面、携帯電話やインターネットを利用した、さまざまな問題が発生しています。

どんな問題がありますか？

他人を誹謗中傷する書き込み、詐欺・悪質商法などの犯罪やトラブル、児童ポルノなどの有害情報の氾濫、個人情報の流出、差別を助長する情報や不確かな情報の流布、迷惑メールやサイバー攻撃(標的)のインターネットシステムを機能不全に陥らせることによる被害など、インターネットの特性(匿名性、拡散性、利便性など)を悪用して引き起こされる、人権に関わる問題が多発しています。

たとえば、いじめを受けていた生徒の個人情報(インターネットに掲載され、生徒が自殺をするという命に関わる事件も発生しています。町内でも携帯電話などを児

童生徒が不適切に利用し、人間関係をこじらせたり、問題行動につながったりするケースが発生しているようです。一度インターネット上に流された情報は、世界中のあらゆる場所、あらゆる人に即座に広まる危険性があり、完全に消すことが困難であるため、長期にわたって深刻な人権侵害を引き起こす可能性があります。

どんな取り組みが行われているか

県では、熊本県総合情報通信高度化計画「くまもとの夢実現ITプラン」が2009年に策定され、情報セキュリティ(保安・警備)の知識や情報リテラシー(正しい情報を見極め活用する力)を習得するための普及・啓発が推進されています。

県内の小・中・高等学校などでは、フィルタリングをパソコンに設定することになっています。アダルトサイトや出会い系サイトなどの有害情

報にアクセス(進入)できないようにフィルタ(特定のものを取り除く機能)をかけ、子どもたちを有害情報から守る仕組みです。

児童生徒の発達段階に応じた情報モラル(倫理・道徳)などの指導も行われています。

地域や学校の実情に応じて、基本的な指導方針が定められています。小・中学校では、携帯電話などの校内持ち込みは原則禁止されています。高等学校では校内での使用が、原則禁止されています。

わたしたちができること

インターネット上でもルールやマナーを守り、自他を大切にすることを意識と行動が大切です。わたしたち一人一人が、情報モラルと情報リテラシーをしっかりと身につけ、被害者や加害者にならないよう気をつけましょう。

熊本県人権同和政策課

「人権研修テキストV」参照

町教育委員会

ふるさとの地名漫歩

歴史の変遷と地名

357

このように常楽寺は武士階級の信仰と支援、庶民の救済願望、民心安寧の中心として益城・御船地区の大きな存在でした。

境内には戦国時代の文明11(1479)年銘の阿蘇大宮司職の家老の村山刑部建立の逆修宝篋印塔を始めとして、天文15(1546)年の板碑などの中世期の繁栄を語る石造物

が残り、阿蘇大宮司職、御船の甲斐宗運、木山城の木山惟久などの支援を受けたが、天正13(1585)年の島津勢の侵攻は御船・赤井・木山の城を落とし木山宮は焼失、同時に飯田山常楽寺に立て籠もる

御船方の興呂木新介を攻撃、ために寺僧は逃散し常楽寺は衰退します。特に天正16(1588)年に入部した肥後半国の領主小西行長により常楽寺の持つ一切の特権は奪われ、ここに荒廃・無住が始まります。

今益城町には寺名のみが伝わりほとんど寺歴不明の中世寺院がいくつかあります。

◎広安校区

馬水・馬水寺。福富・阿弥陀堂。古閑・地藏寺。惣領・蓮

華寺。広崎・禅王寺。

◎福田校区

平田・西福寺。内寺・往生寺。川内田・観音寺。

◎津森校区

堂園・池寺。下陳・石川寺。上陳・大仙寺(薬王寺)。

◎飯野校区

北向・二尊寺。杉堂・寒念寺。砥川・重福寺。秋永・寺地面寺。

このような寺院の跡は小さな堂宇として各地域に祀られています。その中で盛衰を重ねながらも平安時代の寺歴を石造物や古文書で語る事ができる常楽寺は益城町の貴重な文化財です。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策



伝福富阿弥陀堂の板碑類